

地域・教養に関連したトピックス等を提供する一般向け講座 手話通訳付き



緑と水で地域を元気に ～都市再開発と里山再生の実例から学ぶ～

講師 環境学部
加藤 禎久 准教授

鳥取県立図書館
6/6(土)
10:30～12:00

動画配信
6月中旬～

都心の再開発で生まれた立体的な緑、旧鉱山跡の植樹、棚田保全と地場産品づくりなど、都市と農村の「緑の使い方」を比べます。環境の改善だけでなく、学び・健康・観光・地域の誇りを生む仕組みも解説。成功を支える「お金・人・場」の回し方、参加者を増やす工夫、次世代への伝え方まで、初めての方にもわかりやすく紹介します。



地域での再生可能エネルギーの活用

講師 環境学部
松井 徹 准教授

米子市立図書館
9/5(土)
10:30～12:00

動画配信
9月中旬～

最近、「脱炭素」という言葉を良く耳にします。地球温暖化を背景に、現在、国内外で脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進められています。鳥取県では、国の主要施策である「脱炭素先行地域」に米子市・境港市、鳥取市、倉吉市らの3地域が選定され、地域ぐるみで再生可能エネルギーの導入が進められています。本講義ではその取り組みをご紹介しますとともに、地域資源としての再生可能エネルギーの活用について考えていきます。



企業の誕生 ～中近世ヨーロッパの商業世界～

講師 経営学部
谷口 謙次 准教授

倉吉交流プラザ
9/19(土)
10:30～12:00

動画配信
10月上旬～

現代の経済活動では株式会社が最も重要な役割を果たしています。しかし、その起源はどこにあるのでしょうか。商業活動自体は古代から見られましたが、企業組織といわれるものの始まりは、中世イタリアにあるとされています。徒歩や牛馬、小さな船での移動しかできなかった時代に商業活動はどのように発展していったのでしょうか。どうして、組織が生まれ、株式会社へと発展したのでしょうか。最新の研究なども紹介しながら、中近世ヨーロッパの商業世界を見ていくことにしましょう。



土のなりたちを知ることで、 地域の食・防災・観光に役立てたい

講師 環境学部
角野 貴信 准教授

米子市立図書館
10/3(土)
10:30～12:00

動画配信
10月中旬～

地域の食や生態系を支え続ける「土」とはいったい何者か。そのなりたちを知ることで、その有益な機能がどのように生み出されているかが分かります。さらに、その機能の一端が分かれば、地域の食育だけでなく、防災教育や観光にとっても役に立つ情報になるのではないかと考えます。土を知ることが、地域資源の価値をどれほど上げられるのか、世界的な潮流をふまえて、現在どりくんでいる研究についてご紹介します。



財務諸表の作成と見方

講師 経営学部
柳 年哉 特任教授

鳥取県立図書館
11/7(土)
10:30～12:00

動画配信
11月下旬～

財務諸表は会社の経営成績や財政状態を把握し、課題を発見するために利用されるだけでなく、取引銀行、取引先または地方自治体の事業が入札を通じて民間企業に委託される場合の添付資料としても利用されます。会社の経営状況の情報をうまく伝達し、明瞭に表示する財務諸表を作成することは、会社の信頼を得ることに役立ちます。本講座では、添付資料として利用される財務諸表の作成方法と見方を解説します。



ヒットドラマ・映画から学ぶ消費者像 ～恋愛今昔物語～

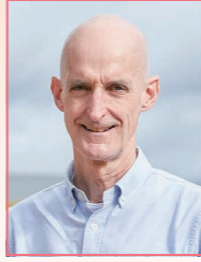
講師 経営学部
竹内 由佳 准教授

国際ファミリープラザ
12/19(土)
10:30～12:00

動画配信
2027年
1月中旬～

皆さんドラマや映画は好きですか!?私は大好きです!ドラマや映画を作る側は、視聴者である皆さんを意識しています。皆さんの思いや価値観に合わせて制作し、魅力的だったものがヒットすることになっている…はず。恋愛映画やドラマだってそう!特に、恋愛観の変化についてなんとなく今の若い子とは違うなと思ったことはありませんか?その変化って、どこから来て、どう違って、何が影響しているんでしょう。一昔前のドラマや映画まで遡って比較しながら考えていきましょう。

英語能力初中級者向け講座 この講座は主に英語で行われます(手話通訳なし)



English: A Global Language Built from Many Languages 英語:多くの言語から築かれた世界共通語

講師 人間形成教育センター
シオン バンヴェイル 准教授

鳥取県立図書館
12/5(土)
10:30～12:00

動画配信
12月中旬～

English is the language of international communication, diplomacy, business, the internet, and academic research. More people speak English as a second language than any other language in the world. The presenter will explain how this language that originated on a small island nation off the west coast of Europe absorbed influences from other languages, and spread around the world to become a global language.

英語は国際的なコミュニケーション、外交、ビジネス、インターネット、学術研究の言語です。世界で最も多くの人々が第二言語として話す言語でもあります。本講座では、ヨーロッパ西海岸沖の小さな島国で生まれたこの言語が、どのように他言語の影響を受けながら世界中に広がり、グローバル言語となったかを解説します。

リカレント教育関連講座 キャリアアップや学び直しの機会に! 大学院に興味がある社会人の方もぜひご参加ください。(手話通訳なし)



農産物の価格はなぜ不安定なのか

講師 経営学部
山口 和宏 准教授

鳥取市役所
6/11(木)
19:00～20:30

対面のみ

加工された食品や工業製品とは異なり、農産物の価格は大きく変化します。精米5キロの価格が約5,000円に高騰し、2024年末にはキャベツ大玉1個の価格が1,000円近くになりました。トマトなど他の野菜価格も変動しており、2026年1月現在では玉ねぎの価格が高くなっています。その一方で、キャベツ1個の価格が100円前後と安い時もあります。なぜ農産物の価格は変化するのでしょうか。農産物の価格形成について一緒に考えていきたいと思います。

「AI・数理・データサイエンスをビジネスにどう活かすか?」 「AI・数理・データサイエンス教育研究センター」が3回連続で提供

AIなどデジタル技術の急速な進展により、AI・数理・データサイエンスは、実証の段階からビジネスに活かす段階に入っています。今年で3年目となるこのコースでは「AI・数理・データサイエンスをビジネスにどう活かすか?」をテーマに、業務に役立つ実践的なスキルの習得を目指します。ご希望のテーマのみのご参加も可能ですが、全3回の受講をお勧めします。



業務改革に活かすアジャイル プロジェクトマネジメント

講師 経営学部
AI・数理・データサイエンス教育研究センター長
齊藤 哲 特任教授

公立鳥取環境大学
6/24(水)
19:00～20:30

動画配信
7月中旬～

アジャイルプロジェクトマネジメントは、現場を中心に自律的に活動を進めるためのマネジメント手法です。アジャイルは「敏捷」や「素早い」と訳されるように、変化に素早く対応しながら価値を生み出すという考え方です。まさに、AIなどの進展による企業を取り巻く環境の急激な変化に、素早く対応するマネジメント手法といえます。本講座では、アジャイルの概要を紹介し、この手法を活用した業務改革の進め方について考察します。



AIの進化と世の中の変化

講師 環境学部
佐川 龍之 准教授

公立鳥取環境大学
7/8(水)
19:00～20:30

動画配信
7月下旬～

急速に進化するAIは我々のライフスタイルや価値観をも変えつつあります。本講義では、AIの進化の流れや世の中での活用事例を紹介するとともに、すぐに使える身近なAIの活用方法も紹介します。日々の生活や仕事の中でAIを取り入れることで、新しいものを創り出す楽しみが得られたり、煩雑だった作業が効率化したりするかもしれません。



コストと収益の最適化

講師 人間形成教育センター
門田 慎也 講師

公立鳥取環境大学
7/22(水)
19:00～20:30

動画配信
8月下旬～

製品を売れば収益を得られますが、製品の生産と輸送にはコストがかかります。すると「コストを抑えて収益を最大にするにはどうすればよいか?」という問いが生じます。このような問題は線形計画問題と呼ばれており、単体法(シンプレックス法)で解決されます。本講義では、具体例を交えながら、単体法により問題が解決される様子をご紹介します。